

報告 Report

ものづくり大学同窓会 2015年度 活動報告

原稿受付 2016年9月20日

ものづくり大学紀要 第7号 (2016) 32~37

中元良成^{*1}, 上原苑子^{*2}, 加藤大樹^{*3}, 大塚秀三^{*4}, 齋藤修一^{*5}

*1 ものづくり大学同窓会 書記(学務部 教務・情報課 教務係)

*2 ものづくり大学同窓会 会長(学務部 学生課 就職・インターンシップ係 主任)

*3 ものづくり大学同窓会 理事(事務部 入試課 入試第一係 主任)

*4 ものづくり大学同窓会 監事(技能工芸学部 建設学科 准教授)

*5 ものづくり大学 学務部 学生課 学生課長

1. はじめに

ものづくり大学同窓会（会長：上原苑子・建設2期）は、2008年度の設立から、ものづくり大学卒業生への情報発信および支援等をはじめ、地域貢献活動を中心に行っている。設立から7年目を迎え近年においては、大学を取り巻いた活動も多くなり、大学・在学生と卒業生を繋ぐ存在であることを確立してきている。ものづくり大学同窓会は、他大学の同窓会機関に比べ、大学の協力のもと成り立っている若い機関ではあるが、大学と共存する隋一機関となる準備として、活動を継続して実施している。

ここでは、2015年度に、ものづくり大学同窓会の活動を報告する。

2. 活動概要

活動概要は「表1」の通りである。「東日本大震災ボランティア活動」（以下、ボランティア活動とする。）は、2011年3月に東日本大震災を受けてから引続き実施し、5年目となる。「ものづくり体験教室」の開催は、行田市よりものづくり大学が依頼を受けて実施している「おもしろものづくり教室」、さきたま火祭り実行委員会の主催する「さきたま火祭り」といった、大学周辺での開催のほか、卒業生からの依頼により坂戸市内の保育園での実施を含め、2015年度は5回実施した。「碧蓮祭における活動」では、同窓会員からの寄付金で実施しているものづくり大学同窓会花火大会、花火大会と同時開催の懇親会、卒業生を主として行う体験教室・展示会・出店ブースの設置、ものづくり大学同窓会総会を実施した。「名刺交換交流会」は2014年度から実施しており、2015年度も引続き実施した。最終講義では、大学との共催で、退職される3名の教員による講義を実施し、多くの参加者が訪れた。「同窓会表彰」は2013年度より実施し、2015年度は7名の卒業生、1名の修了生に授与した。

2016年度入学生より、同窓会費を募ることとなり、今後、さらに幅広い活動を検討している。

表1 活動概要

| No. | 活動 | 実施時期 |
|-----|----------------|---------------|
| 1 | 東日本大震災ボランティア活動 | 4月～5月, 8月, 9月 |
| 2 | ものづくり体験教室 | 5月、6月、7月、11月 |
| 3 | 碧蓮祭における活動 | 10月31日, 11月1日 |
| 4 | 名刺交換交流会 | 2月14日 |
| 5 | 最終講義 | 2月16日 |
| 6 | ものづくり大学同窓会表彰 | 3月18日 |

3. 活動内容

3.1 東日本大震災ボランティア活動

3.1.1 概要

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、2015年度も引続き岩手県陸前高田市等を中心に復興・生活支援活動を行った。

活動内容に関しては、ボランティア受付拠点（NPO 法人 P@ct）の移設に伴う軒・風除室設置工事、陸前高田市「松月寺」屋根補修工事、さんりく町「結っ小屋」ピザ釜設置工事補助などの活動を行った。

3.1.2 実績報告

ボランティア活動は、4～5月・8月・9月にて行い、18日間で延べ70名での活動を行った。

被災した地域では、企業による土地の嵩上げ作業が進み、これまで行ってきた遺留品捜索活動等の需要がなくなりつつある一方、ボランティア受付拠点（NPO 法人 P@ct）の移設に伴う軒・風除室の設置や、海外からのボランティア団体が寝泊りする施設である陸前高田市の「松月寺」屋根補修作業等、「ボランティアをする人のためのボランティア活動」が多くなった。なお、活動等の費用については、主に卒業生有志で捻出し、技術指導に関しては建設学科元非常勤講師の村上幸一氏にご協力頂くことができた。また、活動を行うにあたり、現地との調整については、地元住民からも多くのご協力を頂いた。その他、ボランティア活動の内容は「表2」の通りである。

表2 2015年度ボランティア活動一覧

| No. | 活動期間 | 参加延べ人数 | 活動内容 |
|-----|------------|--------|---|
| 1 | 4月18日～19日 | 8名 | (NPO) P@ct (ボランティア受付財団) 拠点移動に伴う軒設置工事 |
| 2 | 4月29日～5月5日 | 27名 | (NPO) P@ct (ボランティア受付財団) 拠点移動に伴う風除室設置工事 松月寺屋根補修工事・引越し手伝い |
| 3 | 8月13日～16日 | 20名 | 住田町 檜制作 さんりく町 ピザ釜設置工事補助 |
| 4 | 9月20日～24日 | 15名 | さんりく町 屋根修復工事, 水道補修工事 |

3.2 地域交流活動

3.2.1 概要

「地域交流活動」は、行田市、大学からの依頼に加え、卒業生からの依頼による活動等、幅広い活動を行っている。主な活動は、子供向けの体験教室であり、体験教室を通じてものづくり大学を認知してもらうことと同時に、「ものづくり」の楽しさや完成したときの達成感を感じて欲しいという願いから継続して実施している。体験教室実施にあたり、講師等のスタッフについては、卒業生の有志で募った Teaching Staff を中心に行っている。

3.2.2 実績報告

2015年度の体験教室の実施は「表3」の通りである。各イベントにリピーターも多いため、これまでの体験教室と異なる内容になるように考案した。その結果、参加者からの高い満足度が得られた。また、ものづくり大学と行田市の連携事業として実施している、「おもしろものづくり教室」では、募集当初の定員数から定員の増員を依頼される等、行田市民からの期待度も増加しているように感じられた。

表3 体験教室実施一覧

| No. | 体験教室名 | イベント | 実施日 実施場所 | 依頼元 | 参加者数 |
|-----|--------------------|-------------|-------------------------|--------------|------|
| 1 | モルタルを使った研ぎ出しキーホルダー | さきたま火祭り | 2015年5月4日 さきたま古墳 | さきたま火祭り実行委員会 | 70名 |
| 2 | 小物入れを作ろう | 保育園親子体験教室 | 2015年6月27日 アスクわかば保育園 | 卒業生の友人 | 30名 |
| 3 | 麻縄を使って、イスをつくってみよう | おもしろものづくり教室 | 2015年7月12日 ものづくり大学 | ものづくり大学 | 42名 |
| 4 | タイルコースターセットを作ろう | おもしろものづくり教室 | 2015年7月19日 ものづくり大学 | ものづくり大学 | 58名 |
| 5 | スライド式ブックスタンド作り | 忍城時代祭り | 2015年11月15日 行田市役所 | 忍城時代祭り実行委員会 | 56名 |

3.3 碧蓮祭における活動

3.3.1 概要

「碧蓮祭における活動」では、卒業生および教職員の寄付金協力により実施している花火大会、懇親会、バスケットボール大会の開催、卒業生による体験教室および模擬店の出店、思い出写真館の設置、近隣店舗の模擬店誘致等様々な活動を行っている。また、碧蓮祭2日目には、ものづくり大学同窓会総会を開催した。なお、2015年度の碧蓮祭は10月31日（土）、11月1日（日）に開催された。

3.3.2 実績報告

2015年度は、これまでの活動に加え、模型部OBによる展示会を新たに実施した。花火大会は天候にも恵まれ、多くの見物客が見受けられた。また、見物客の中には近隣の住民も多く見受けられた。懇親会では、約60名の卒業生と在學生、退職された教員が参加し大盛況に終わった。碧蓮祭2日目に開催した、ものづくり大学同窓会総会では、2015年度の経過報告から2016年の計画、同窓会会則の改定、会費制の導入等の議論がされた。

碧蓮祭では、卒業生が主体となる活動も増えたが、引続き体験教室、展示会、卒業生出店等をさらに拡大できるよう、参加者を募っていく。

3.4 名刺交換交流会

3.4.1 概要

名刺交換交流会とは、業界業種の異なる卒業生同士の交流を深めることを目的に、2014年度より実施したイベントである。

3.4.2 実績報告

2015年度の参加者は、卒業生9名、在學生1名と少人数ではあったが異なる業界の卒業生が集まったことで、参加者は、日常の仕事では聞けない話題や、他業種の情報収集等に活用している様子であった。

参加者数については、2014年度よりは増加したものの、まだ少人数であるため、卒業生に向けた周知の方法を検討し、卒業生の参加者数が100人を超えるような会を目指していきたい。

3.5 最終講義

3.5.1 概要

最終講義はものづくり大学との共催で行い、当該年度で退職される教員による講義を実施している。講義の内容については、教員に一任しており、教員の個性が活かされた講義内容となっている。参加者は卒業生だけでなく、在學生、学内の教職員、非常勤講師も参加している。

3.5.2 実績報告

2015年度は、鈴木克美教授（製造学科・高温プロセッシング研究室）、赤松明教授（建設学科・木材加工研究室）、白井裕泰教授（建設学科・建築遺産研究室）による最終講義が行われた。3名の教授には、研究成果、在職中の想い、学生へのメッセージ等、普段の講義では聞けない内容を話していただいた。

参加者数に関しては、各研究室の卒業生を中心に周知した結果、80名を超えた。

3.6 ものづくり大学同窓会表彰

3.6.1 概要

「ものづくり大学同窓会表彰」は学内の卒業（修了）研究・制作で優れていると認められた学生や、社会的に学術研究等の成果が優れていると認められた学生等を表彰する制度であり、卒業（修了）研究・制作に取り組む学生の成果を評価することで、学生の研究・制作に取り組む姿勢を高めてもらいたいという願いから2013年度より継続して実施している。なお、表彰対象者については両学科教員の協力のもと選考されている。

3.6.2 実績報告

2015年度のものづくり大学同窓会表彰は、「表4」の通り、7名の卒業生（製造学科3名、建設学科4名）、1名の修了生が選考され、学位記授与式において表彰を行った。受賞した卒業（修了）生には、ものづくり大学同窓会表彰を受け、社会に出てからもより一層の活躍を期待したい。

表4 2015年度ものづくり大学同窓会表彰一覧

| No. | 学科 | 氏名 | タイトル |
|-----|---------------|--------|----------------------------------|
| 1 | 製造学科 | 井田 耕平 | 多様な形態のロボット開発が可能なアクチュエータモジュールの開発 |
| 2 | 製造学科 | 柴崎 陽香里 | 浮力を利用した新型サンシェードの開発 |
| 3 | 製造学科 | 寺屋 衛 | 広告表示機能付き小型電動コミュータの開発 |
| 4 | 建設学科 | 山本 千絵 | 行田市の交流人口増加を目的とした施策検討に関わる基礎的調査 |
| 5 | 建設学科 | 石塚 優莉 | 「折り紙建築」の型と技についての考察 |
| 6 | 建設学科 | 阿部 柚実 | 越屋根付木造休憩小屋の設計・施工 |
| 7 | 建設学科 | 勝又 悠弥 | 越屋根付木造休憩小屋の設計・施工 |
| 8 | ものづくり学 研究科 | 山本 健太 | 汎用マイコンを用いた学生フォーミュラ車輻用多機能ECUの研究開発 |

4. まとめ

2015年度のものづくり大学同窓会活動について、設立時から継続して行っている地域貢献活動では、参加者が増加し、良い傾向であるように感じられた。一方、名刺交換交流会では、2015年度で2回目の開催であるためか、参加者数が少なく周知に関して、課題の残る結果となった。しかし、参加者からの満足度が高いため、継続して実施していく予定である。活動を実施するにあたり、「ものづくり大学同窓会 HP」、「ブログ」、「ツイッター」、「Facebook」、「郵送（例年8月に実施）」などのツールを活用して周知を行っているが、卒業生同士の関わりを密にするために開設した「ものづくり大学同窓会 LINE ルーム」も利用していきたいと考えている。

2016年度新入生から同窓会費を募ることとなったため、同窓会活動が多方面に発展すると考えられるが、これまで同様、大学と卒業生を繋ぐ活動も継続していきたいと考えている。

謝 辞

ものづくり大学同窓会の活動に際し、学校法人ものづくり大学ならびにご支援頂いた教職員の皆様、実習用機器および廃材提供では製造学科・建設学科より多大なるご支援を頂いています。また、本活動には同窓会役員をはじめ、多くの卒業生・在校生有志のご助力を得ています。ここに、紙面を借りて関係各位に深謝いたします。

文 献

- 1) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・宮本伸子：ものづくり大学同窓会 平成 22 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.104-107,2011.6
 - 2) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・宮本伸子：ものづくり大学同窓会 平成 23 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.119-122,2012.6
 - 3) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成 24 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.113-116,2013.6
 - 4) 中元良成・加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成 25 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.69-72,2014.12
 - 5) 中元良成・加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成 26 年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.49-53,2016.4
-